

第93回 富山眼科集談会

-ハイブリッド開催- (現地+Web)

日時 令和 8年 5月31日(日)13:00~16:15

場所 富山県民会館 6F (611号室)

〒930-0006 富山市新総曲輪 4 番 18 号 Tel:076-432-3111

(連絡先)富山眼科集談会事務局 富山大学医学部眼科学教室

〒930-0194 富山市杉谷 2630 Tel:076-434-7363 Fax:076-434-5037

E-Mail: ophthal@med.u-toyama.ac.jp

1. 一般講演(発表7分、討論4分) 症例提示・ミニ発表(発表4分、討論2分)です。
2. 現地参加を原則といたしますが、ライブ(ハイブリッド)での参加も可能です。
3. 【Web 参加者について】
ご自宅等で Web で参加する場合は、Zoom(オンライン)を使用しての参加となります。Zoom参加される方は、事前に下記 QR コード・URL より参加申し込みをお願いいたします。
申込 URL <https://forms.gle/Dh7vp3oiKW9Z6TZbA>
Zoom 申込期間は、開始:5/20(水)~終了:5/27(水)までです。
当日 Web 接続の状況が良くない場合もあります。ご了承ください。
4. 【Web 申込必要事項】
①氏名、②フリガナ、③所属、④専門医番号(会員 ID6 桁)をご記入ください。
申込期間終了後に Web(Zoom)申込者には、ID、パスワードをメール送信いたします。
5. 【会場費について】全て、振込みとさせていただきますのでご了承ください。
会場参加者は、振込先は当日会場にてご案内いたします。Web 参加者は、ID、パスワード等のメール送信の際に振込情報をご案内いたします。
参加費は 3,000 円です。(会員は無料です)
6. 本会は日本眼科学会専門医制度生涯教育事業(No.59056)です。
7. 【取得単位】会場参加者は 1 単位、Web 参加者は 0.5 単位を取得できます。
Web 参加者は、視聴の確認が取れた場合に単位を付与されます。(短時間の視聴の場合は認められませんのでご了承ください)
8. 本会は日本医師会生涯教育制度における 1 単位(36)カリキュラムコードを取得することができます。
9. 「眼科臨床紀要」に一般講演は、演題・演者のみ掲載いたします。



ご自分のパソコンを持ってきて頂くと、自分の手元のパソコンで発表スライドを Zoom で見れます。(音声、マイクは off にして下さい)

次回の第94回富山眼科集談会は令和8年11月29日(日)富山県民会館の予定です。

主催 富山眼科集談会

一般講演

13:00 ~ 13:33 (座長) ^{みはら みはる} 三原美晴 (富山大)

1. 本校における地域支援 —教育相談事例とともに—
^{いまいむつひと} 今井睦人 (富山県立富山視覚総合支援学校)
2. 流涙症における綿糸法の有用性の検討
^{ますこ あんず} 増子 杏、植田芳樹、但馬悠介、田中伸弥、渡辺裕士、橋本義弘(真生会富山病院)
3. フックス角膜内皮ジストロフィに対する Vyznova 術後共焦点顕微鏡解析
^{こうさかまさひろ} 高坂昌宏、小林 颯、横川英明、森奈津子、東出朋巳(金沢大)

13:33 ~ 14:06 (座長) ^{みやこしあきお} 宮腰晃央 (富山大)

4. 前眼部OCTの解析角膜径と角膜乱視および角膜乱視軸の誤差の関係
^{み た のりひろ} 三田哲大、鵜飼祐輝、渋谷恵理、初坂奈津子、佐々木 優、柴田哲平、
水戸 毅 久保江理、佐々木 洋 (金沢医大)
5. 近視性乱視矯正 ICL 摘出+白内障同時手術の術中視認性向上
^{たがわこうさく} 田川考作(小矢部たがわ眼科)
6. 局所性糖尿病黄斑浮腫に対する直接凝固とFaricimab投与の順序の優位性
^{まつばらしろう} 松原史朗、山田雄貴、高村佳弘、眞田侑季、稲谷 大 (福井大)

14:06 ~ 14:45 (座長) ^{まるやまかずいち} 丸山和一 (富山大)

7. 糖尿病黄斑浮腫に対する硝子体手術の追加術式Foveal- Lift Technique の成績
^{たちな おこ} 館奈保子、長岡悟史、大橋 萌(たち眼科富山駅前アイクリニック)
8. 強膜創を縫合する 25G 経毛様体扁平部硝子体手術の術後低眼圧について
^{たかはししゅうご} 高橋翔吾 1 コンソルボ上田朋子 2、高田雄太 3、石田聖朗 2、
柳沢秀一郎 1、林 篤志 2
1 高岡市民病院 2 富山大 3 高山赤十字病院

9. 急性網膜壊死症例において硝子体手術が必要となった背景因子の臨床的特徴

まるやまかずいち

丸山和一¹、中村友子¹、藤本聡子²、春藤卓也²、林 篤志¹

¹ 富山大、² 大阪大

症例提示・ミニ発表

10. 富山県における2025年度 献眼実績と活動報告

おかだゆうこ

岡田裕子¹、林 圭子¹、加藤弓佳¹、林 篤志²

¹ 公益財団法人富山県アイバンク ² 富山大

14:45 ~ 15:15 休憩

特別講演

15:15 ~ 16:15 (座長) はやし あつし 林 篤志 (富山大)

【会場での講演】

『網膜病態の解明と外科的アプローチ

- 最近の症例から見る新たな展望』

むかい りょう

向井 亮 先生

(福島県立医科大学眼科 教授)

「網膜病態の解明と外科的アプローチ — 最近の症例から見る新たな展望」

福島県立医科大学眼科学講座 教授

向井 亮 先生

網膜疾患の理解は、OCT や OCTA などの革新的画像技術の発展により飛躍的に進んだ。一方で、重篤な網膜疾患に対する治療の根幹は外科的革新により発展してきた。1970 年代に Machmer らが確立した *pars plana vitrectomy* は眼科手術を大きく変革し、その後、25G・27G システムの登場、可動域の広いツール、広角観察系の改良などにより、低侵襲かつ精緻な手術操作が可能となり、適応は飛躍的に拡大した。福島県立医科大学眼科学講座でも、難治性網膜疾患に対して硝子体手術を核とした外科的治療を積極的に展開し、術式の工夫や補助薬剤の選択を通して治療成績の向上を図ってきた。本講演では、当科で最近経験した手術症例を中心に、病態の理解を深めるとともに、治療戦略に新たな視点を与えた臨床的示唆について紹介する。また、演者が専門とする加齢黄斑変性について、最近の話題について概説し、網膜疾患治療のさらなる可能性を探りたい。